



柿内尚生

# おさんぽ劇場



和田周子

上演時期：お問合せください

## 小さなお城

「小さなお城」  
文／サムイル・マルシャーク  
絵／ユーリー・ワズネツォフ  
翻訳／片岡みい子  
(平凡社刊)より

構成・演出／小さなお城の仲間たち  
美術／柿内尚生  
音楽／八幡美佳

ある日、一匹のカエルが小さな家を見つけました。誰も住んでいないこの家はカエルのステキなお城になりました。ニワトリとハリネズミもやってきて、三匹は一緒にこのお城に住むことになりました。ところがある日、オオカミがやってきて…。

「森は生きている」の作者サムイル・マルシャークが、子ども達のために書いた戯曲を人形劇にしました。素朴な人形と生楽器の演奏が楽しい人形劇です。

### アンケートより

身近な素材を使った素朴な人形がかわいかった。子ども達も自分で作って楽しめそう。“みんなで力を合わせてよかった”と思える内容もよかった。

## ゆいとケンムン

作・演出・美術／  
福永朝子  
音楽／  
ノヤママナコ

南の島にケンムンという妖怪がいます。赤い顔して髪の毛はもじゃもじゃ、手足は長く、いたずら好きで大きな木に住んでいます。

島の女の子“ゆい”は、おばあに教えられて、そーっと大きな木の下を通りすぎようとしてます…。

ゆいとケンムンの楽しい出会いときずなをたて糸に、おばあが木の皮をなめし、糸をつむぎ、機を織る様子をよこ糸に、南の島の旋律に乗せて、自然と人との絆をユーモアを交えて描きます。変幻自在のケンムンのキャラクターを人形劇ならではの手法で表現しました。

### アンケートより

生きているような人形、布を使った波や風、台風が目がきづけでした。すてきなストーリーに引きつけられ夢中になって観ました。子ども達は色々な形になるケンムンの人形に興味を持ち、動きも面白く身を乗り出して観ていました。

